

Web上で動作するモデリング環境 Kodougu の開発

背景

ソフトウェア開発プロジェクトを巡る環境が変化してきた。

- 問題整理などを目的として、UML等を使ってモデリングをする機会が増えてきた
- 情報共有に Web ベースのツール(wiki, BTS, タスク管理)を使用する機会が増えてきた
- 様々なモデリング言語を使ってプロジェクトの問題を整理する機会が増えてきた
 - ✓ マインドマップ、UML、ER図、DFD等々

現状

既存のモデリングツールの問題点

- Webアプリと統合できない
- 特定のモデリング言語に縛られている
- モデル情報の共有方法が限られている
 - ✓ ファイルベース
 - ✓ 閲覧には専用クライアントが必要

このような背景と現状が

Web上で動作するモデリング環境

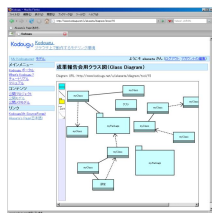
Kodougu

を開発する動機となった。

Web上で動作するモデリング環境 Kodougu の開発

Kodougu ができること
(未踏で開発したもの)

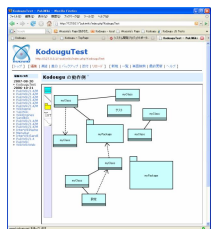
ユーザへのインパクト



ブラウザ上のモデリング

**Only
Browser**

専用ツールの管理や
インストーラから解放



Wiki, ブログなどへの
Kodougu の組み込み

**Agile
Development**

Wiki で議論してそのまま
モデリング
結果は即全て共有



新規モデリング言語の定義

**Suitable
Modeling
Language**

問題解決に適した
モデリング言語を定義



Kodougu によって、ツールと言語の制約から解放され
Web とモデリングツールがシームレスに統合された